世界の気候と文化

名前

問1　赤道付近に位置する地点の気候について、その背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、この地点は年間を通して月平均気温が約25度以上で、毎月多くの降水があるものとします。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 夏は気温が非常に高いが、冬は大陸からの冷たい風の影響で降水量が減少し、気温も下がる。
2. 太陽の光を強く受けるため、季節による気温の変化が小さく、一年中夏のような気候が続く。
3. 偏西風の影響を強く受けるため、一年を通して気温の変化が穏やかで、降水量が一定に保たれる。
4. 上昇気流が起こりにくいため、気温は高いものの乾燥しており、樹木がほとんど育たない。

問2　ムスリムと呼ばれる信者たちが、一日のうち決まった時間に聖地メッカの方向に向かって礼拝を行い、イスラム暦の9月には日中の飲食を断つ「断食」を行う宗教は何ですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. イスラム教
2. ヒンドゥー教
3. キリスト教
4. 仏教

問3　赤道付近に位置する南米のアマゾン盆地などにおいて、年間の月平均気温が常に25度から27度程度で一定しており、かつ、すべての月で降水量が200mmを超えるような特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 西岸海洋性気候
2. 熱帯雨林気候
3. 温暖湿潤気候
4. サバナ気候

問4　ユーラシア大陸の東部や南部などの地域で見られる、夏と冬で吹く向きが反対になる風を何といいますか。別名「モンスーン」とも呼ばれ、アジアの気候や人々の生活、さらには大航海時代の航海術にも大きな影響を与えたものを答えなさい。（2020年 滋賀県公立入試 類似）

1. エルニーニョ現象
2. 偏西風
3. 貿易風
4. 季節風

問5　熱帯に属する赤道付近の地域において、月別平均気温をグラフに表すと25度前後でほぼ一定の直線状になります。このように気温の変化が小さくなる理由として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 広大な熱帯雨林が日光を遮り、地表の温度上昇を抑え続けているため
2. 一年を通じて太陽の光を受ける角度が大きく、地表が受ける熱量の変化が少ないため
3. 暖流の影響を一年中受けることで、海水温とともに気温も一定に保たれるため
4. 常に強い偏西風が吹いているため、周囲の熱が分散され一定の気温になるため

問6　東経100度線上の地域において、北回帰線（北緯約23.4度）付近からさらに北の中緯度地域へ向かって移動した場合、一般的に見られるようになる気候帯の性質として正しいものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 常に上昇気流が発生するため、毎日午後にスコールと呼ばれる激しい雨が降る。
2. 一年を通じて偏西風の影響のみを強く受け、気温の年較差がほとんどなくなる。
3. 季節風（モンスーン）の影響などを受けながら、季節ごとの気温や降水量の変化が明瞭になる。
4. 緯度が上がるにつれて乾燥が激しくなり、植物が育たない砂漠が広がる。

問7　冷帯（亜寒帯）の気候に見られる「年較差」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 平年の気温と、その年の実際の気温との間に生じた数値の差のこと。
2. 一日のうちで最も気温が高い時間と、最も低い時間の気温の差のこと。
3. 一年の中で最も平均気温が高い月と、最も低い月の気温の差のこと。
4. ある地点の年間降水量と、年間の蒸発量を比較した数値の差のこと。

問8　アラビア半島周辺やアフリカ北部など、年間を通じて降水量が非常に少ない乾燥帯の地域で見られる伝統的な食文化の説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 米を主食とし、周辺の海で得られる豊富な魚介類や、熱帯特有の果実を組み合わせた食事を基本とする。
2. とうもろこしやじゃがいもを主食とし、高地での飼育に適したアルパカなどの肉を主なタンパク源とする。
3. 小麦を加工した食品を主食とし、羊やらくだなどの家畜から得られる肉や乳を重要な食料源とする。
4. タロいもやヤムいもを主食とし、ココヤシやオリーブなどを組み合わせた自給自足的な食生活を送る。

問9　北半球にあるイタリアのローマと、南半球にある南アフリカ共和国のケープタウンは、ともに夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属している。ケープタウンにおいて、1月よりも7月の平均気温が低くなる理由として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 南半球に位置するため、北半球とは季節が逆になり、7月が冬の時期にあたるから。
2. 7月になると南極大陸から冷たい季節風が吹き込み、一時的に気温を押し下げるから。
3. 標高の高い高原地帯に位置するため、夏の間だけ平均気温が著しく低下するから。
4. 赤道に近い低緯度地域に位置するため、1年を通じて気温の変化がほとんどないから。

問10　ヨーロッパの高い緯度に位置するある都市の気候統計では、一年を通じて気温の変化が比較的穏やかであり、かつ降水量が特定の時期に偏らず、毎月平均して雨が降るという特徴が見られます。この気候区分名と、その特徴をもたらしている主な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。
2. 地中海性気候に分類され、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬に降水が集中する。
3. ツンドラ気候に分類され、一年の大部分が氷雪に覆われ、夏の間だけわずかに苔類が育つため。
4. 熱帯雨林気候に分類され、赤道付近で強い日差しを受け上昇気流が盛んに発生するため。

問11　赤道付近に位置する地域の気候の特徴について、気温と降水量の関係を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、夏に降水が集中する
2. 夏は高温で乾燥するが、冬には偏西風の影響で一定の降水がある
3. 一年を通じて気温が高く、乾季が見られず年中多くの雨が降る
4. 一年を通じて気温が低く、上昇気流が発生しにくいため降水量は極めて少ない

問12　ある地域の気候について、月別平均気温が年間を通して20度から30度の間にあり、月別平均降水量が6月から9月にかけて400ミリメートル近くまで急増する一方、12月から2月には100ミリメートルを下回るという観測データがあります。この気候の特徴に最もよく当てはまる国はどこですか。（2024年 三重県公立入試 類似）

1. コートジボワール
2. ロシア
3. ブラジル
4. オーストラリア

問13　東南アジアのマレーシア周辺などのように、一年を通して月平均気温が常に25度を超え、毎月の降水量が200mm前後におよぶ熱帯の地域で見られる「高床式」の住居について、このような建築構造にする主な理由として最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 冬の厳しい寒さに備え、地面からの冷気が室内に直接伝わるのを防ぐため
2. 夏に永久凍土が解けることで、建物が沈んだり傾いたりするのを防ぐため
3. 地面からの湿気を防ぐとともに、風通しを良くして暑さを和らげるため
4. 砂漠地帯特有の激しい砂嵐が室内に侵入するのを防ぎ、乾燥した熱気を遮断するため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 太陽の光を強く受けるため、季節による気温の変化が小さく、一年中夏のような気候が続く。	赤道直下の熱帯地域では、太陽の南中高度が一年中高いため、月ごとの気温差（年較差）が他の気候帯に比べて非常に小さくなります。常に上昇気流が発生してスコールと呼ばれる激しい雨が降るため、乾燥帯のような水不足になることはなく、密林（熱帯雨林）が形成される背景となります。
問2	答え 1 イスラム教	イスラム教では、礼拝、断食、信仰告白、喜捨、巡礼が信者の五つの義務（五行）とされています。礼拝は毎日5回、聖地メッカの方向を向いて行われます。断食はラマダーンと呼ばれる月に行われ、信仰心を高める重要な行事です。
問3	答え 2 熱帯雨林気候	赤道直下の地域では、太陽の光を垂直に近い角度で受けるため、一年を通じて気温が高く安定します。また、強い日差しによって上昇気流が盛んに発生するため、スコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降り、年間を通じて多雨となるのが特徴です。
問4	答え 4 季節風	ユーラシア大陸とその周辺の海洋との間では、季節によって温まりやすさと冷めやすさが異なるため、気圧の配置が変化します。これにより、夏は海洋から大陸へ、冬は大陸から海洋へと吹く向きが逆転する風が生じます。この風はアジアの稲作農業に恵みの雨をもたらすと同時に、帆船が風の力を利用して移動していた時代には、航海を支える重要な動力源となりました。
問5	答え 2 一年を通じて太陽の光を受ける角度が大きく、地表が受ける熱量の変化が少ないため	地球の公転に伴って季節が生じますが、赤道付近は太陽の南中高度が一年中高いため、季節による受熱量の差がほとんど生じません。このため、月ごとの平均気温がほぼ一定になり、直線状のグラフを描くことになります。これに対し、緯度が高い地域では季節によって太陽の角度が大きく変わるため、気温の変動も大きくなります。
問6	答え 3 季節風（モンスーン）の影響などを受けながら、季節ごとの気温や降水量の変化が明瞭になる。	東経100度付近のアジア大陸東部から南部にかけては、低緯度側の熱帯から北上するにつれて温帯へと移行します。この地域は中緯度に位置するため、太陽放射量の季節変化に加えて季節風の影響を強く受け、夏は高温多湿、冬は低温乾燥といった四季のメリハリがはっきりとした気候が形成されます。
問7	答え 3 一年の中で最も平均気温が高い月と、最も低い月の気温の差のこと。	北半球の高緯度大陸部に広がる冷帯（亜寒帯）は、海洋の影響を受けにくい地点が多く、夏と冬の気温差が極めて大きくなります。この一年の気温の変動幅を「年較差」と呼び、冷帯を定義する大きな特徴の一つとなっています。これに対し、一日の気温の変化は「日較差」と呼びます。
問8	答え 3 小麦を加工した食品を主食とし、羊やらくだなどの家畜から得られる肉や乳を重要な食料源とする。	乾燥帯では降水量が少なく樹木が育ちにくいため、比較的乾燥に強い小麦が栽培され、パンや麺などに加工して食べられてきました。また、水や草が乏しい過酷な環境でも生存できる羊やらくだを家畜として飼育し、その乳や肉を余さず利用する遊牧などの形態が伝統的に行われています。選択肢にあるタロいもは熱帯、じゃがいもやとうもろこしはアンデス山脈などの中南米原産の食文化に関連するものです。
問9	答え 1 南半球に位置するため、北半球とは季節が逆になり、7月が冬の時期にあたるから。	地球は自転軸を傾けた状態で公転しているため、北半球と南半球では太陽の光を受ける角度が時期によって異なり、季節が逆転する。南半球にあるケープタウンでは、北半球の夏にあたる7月頃に太陽高度が最も低くなる冬を迎えるため、1月よりも平均気温が低くなる。これは南半球の多くの地域に共通する特徴である。
問10	答え 1 西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。	ヨーロッパの大西洋沿岸など、高緯度の西側に分布する西岸海洋性気候は、暖流である北大西洋海流の上を吹き渡る湿った偏西風の影響を一年中受けます。このため、緯度のわりに冬の寒さが厳しくならず、降水量も季節を問わず一定になるという特徴があります。一方で、赤道付近の熱帯は年中高温多湿であり、地中海性気候は夏に乾燥するため、降水のパターンが異なります。
問11	答え 3 一年を通じて気温が高く、乾季が見られず年中多くの雨が降る	赤道付近は太陽からの熱を強く受けるため、年間を通じて月平均気温が25度を超える「常夏」の気候となります。強い日差しによって上昇気流が発生しやすく、スコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るため、明確な乾季がなく、どの月も降水量が多いのが特徴です。
問12	答え 3 ブラジル	年間を通して気温が20度から30度と高いことから、低緯度の熱帯に位置することがわかります。さらに、時期によって降水量が大きく変動し、100ミリメートルを下回る乾季が存在することは、同じ熱帯でも一年中雨が多い熱帯雨林気候とは異なる特徴です。南米のブラジルなどでは、こうした雨季と乾季がはっきり分かれる熱帯の気候が見られます。
問13	答え 3 地面からの湿気を防ぐとともに、風通しを良くして暑さを和らげるため	赤道に近い熱帯雨林気候の地域では、一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るため、非常に湿度が高くなります。このような環境で快適に過ごすためには、床を高くして地面から離すことで、床下からの湿気を防ぎ、室内の風通しを確保して体感温度を下げる工夫が必要となります。